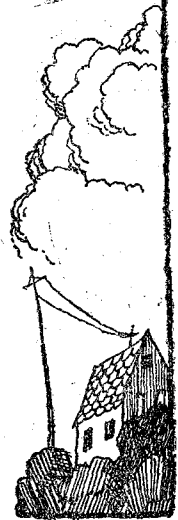




内務省特報



●内務省告示第四百五十六號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和十五年八月三日ヨリ
岡山縣兒島郡宇野町及日比町ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ玉野市
ヲ置ク

昭和十五年八月三日

内務大臣 安井 英一

●内務省告示第四百八十一號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和十五年九月十三日
ヨリ群馬縣佐波郡伊勢崎町殖蓮村及茂呂村ヲ廢シ其ノ區域
ヲ以テ伊勢崎市ヲ置ク

昭和十五年八月二十八日

内務大臣 安井 英一

●紀元二千六百年式典並ニ紀元二千六百年奉祝會ノ期日、
場所及參列者範圍八月十四日第四〇八二號官報ヲ以テ公

告

●基本國策要綱八月一日發表せらるる其の全文左の如し

世界は今や歴史的に一大轉機に際會し數個の國家群の生成
發展を基調とする新なる政治經濟文化の創成を見んとし、
皇國亦有史以來の大試煉に直面す、この秋に當り眞に肇國
の大精神に基く皇國の國是を完遂せんとせば右世界史的發
展の必然的動向を把握して庶政百般に互り速かに根本的刷
新を加へ萬難を排して國防國家體制の完成に邁進すること
を以て刻下喫緊の要務とす、依つて基本國策の大綱を策定
すること左の如し。

基本國策要綱

一、根本方針 皇國の國是は八紘を一字とする肇國の大精

神に基き世界平和の確立を招來することを以て根本とし先づ皇國を核心とし日滿支の強固なる結合を根幹とする大東亞の新秩序を建設するに在りこれがため皇國自ら速かに新事態に即應する不拔の國家態勢を確立し國家の總力を擧げて右國是の具現に邁進す。

二、國防及外交 内外の新情勢に鑑み國家總力發揮の國防國家體制を基底とし國是遂行に遺憾なき軍備を充實す、現下の外交は大東亞の新秩序建設を根幹とし先づその重心を支那事變の完遂に置き國際的大變局を達觀し建設的にして且つ弾力性に富む施策を講じ以て國運の進展を期す。

三、國內體制の刷新 内政の急務は國體の本義に基き庶政を一新し國防國家體制の基礎を確立するに在り、これが爲左記諸件の實現を期す。

1、國體の本義に透徹する敎學の刷新と相俟ち自我功利の思想を排し國家奉仕を第一義とする國民道德を確立す。

2、強力なる新政治體制を確立し國政の綜合統一を圖る

(イ)官民協力一致各々其の職域に應じ國家に奉公することを基調とする新國民組織の確立

(ロ)新政治體制に即應し得べき議會翼賛體制の確立

(ハ)行政の運用に根本的刷新を加へその統一と敏活とを目標とする官界新態勢の確立

3、皇國を中心とする日滿支三國經濟の自主的建設を基調とし國防經濟の根基を確立す。

(イ)日滿支を一環とし大東亞を包容する協同經濟圏の確立

(ロ)官民協力による計畫經濟の遂行特に主要物資の生産、配給、消費を貫く一元的統制機構の整備

(ハ)綜合經濟力の發展を目標とする財政計畫並に金融統制の確立強化

(ニ)世界新情勢に對應する貿易政策の刷新

(ホ)國民生活必需物資特に主要食糧の自給方策の確立
(ヘ)重要産業特に重、化學工業及び機械工業の劃期的發展

(ト)科學の劃期的振興並に生産の合理化

(チ)内外の新情勢に對應する交通運輸施設の整備擴充

(リ)綜合國力の發展を目標とする國土開發計畫の確立

4、國是遂行の原動力たる國民の資質、體力の向上並に

人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定

發展に關する根本方策を樹立す。

5、國策の遂行に伴ふ國民犠牲の不均衡の是正を斷行し

厚生的諸施設の徹底を期すると共に國民生活を刷新し

忍苦十年時艱克服に適應する實質剛健なる國民生活の

水準を確保す

◎成田土木局長の土木新體制の實相 本年度の土木豫算は

一億圓を超えてゐる。事變の始まつた翌年は六千萬圓だつ

たのだから、この間實に四千萬圓即ち六割六分餘の大跳躍

膨脹となるわけだ、この數字は一見奇異の感を抱かせる現

下の時勢に土木でもあるまい、といふのが普通素人の考へ

だからである、一握の砂、一本の釘も惜しいといふ時に何

もあわてゝ道をつけたり、橋を拵へたり、港を開く必要は

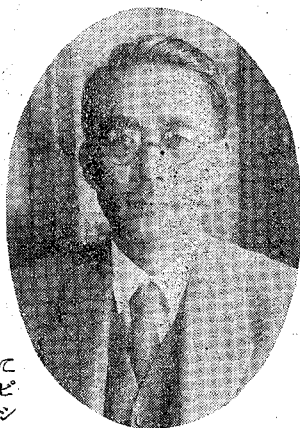
ないぢやないか、そんなことは戦争が済んでからゆつくり

とやつたらいいぢやないかと誰でも思ふ、この素朴な疑念

を土木行政の總元縮内務省土木局長成田一郎さんに投げか

けてみる。

内務省土木局長成田一郎氏(本會常務理事)は言下に



「それやゝ君、

大變な認識不

足だよ」と

成田さんは

脛にとまつた

蚊でも叩くやう

にピシヤリと反撃の一矢を

放つて、さて土木新體制の實相をやつてみせるのだ、曰く

戦争が一年か二年で済むんだつたら、なるほどそれもよ

からう土木豫算など一錢もなくなつていゝ、道路の改修も

防波堤築設も河川改良もピツタリ止めてしまつたつて一向

に差支ないかも知れない、處が今日の戦争ではそんなこと

は出来やしない、生産力擴充だらう、ところが生産力擴充には工場の新増設だ工場の新増設には先づ道路であり港灣である、工場だけいくら拵へてみてもそこへ原料資材を持つて來たり生産品を搬出したりする運輸がなかつたら何にもならない、そこで道だ、港灣だ、河川改修だつて同じことだ今日の工場が如何に多量の工業用水を必要とするかは一寸想像の外だよ水の用途が灌漑と飲用と發電源だけの時代はもう過去だよ、とところでこの大量工業用水の供給を確保するためにはどうしても河川改修が前提條件となるのだ。

以上は一例に過ぎないが今日の土木事業といふものは殆ど國防に奉仕するものと云つてもいゝ位のものだ、だから今日の土木豫算の内容は純然たる戦時豫算だと思つてゐる」

成田さんの東北關西合成辯が次第に熱を帯びてくる

「新體制といへば、これからの大陸だよ、これが大問題さ黄河をどうするなんてことになるよ今までの話と大分桁が違つてくる、これは土木日本にとつては技術的に云つても試金石だよ、中國三千餘年の悩みだつた黄河を土木日本

の威力で征服出来るかどうか、これは君、實に歴史的な課題だよ、中國の政治、經濟、文化、社會等に、凡ゆる建設工作の成否はかゝつてこれにあるといつてもいゝ位だ」

新體制下における、即ち土木新體制はかくして一切の新體制に先行するといふ成田局長の主張が素朴な疑念を拂ひのけてクツキリと浮び上つて來る。(國民新聞に依る)

◎新政治體制準備委員二十六名内定せらる其の顔觸れは左の通である。(八、二四)

貴族員	元内相	後藤	文夫
同	産組中央會頭	伯有	馬頼寧
同	工博	大河内	正敏
同		男井田	馨楠
同	精動理事長	堀切	善次郎
同		太田	耕造
衆議院	元遞相	永井	柳太郎
同		前田	米藏
同		岡田	忠彦
同	元商相	小川	郷太郎

同 元 拓 相	金光庸夫
同 元 厚 相	秋田 清
同	麻生 久
學界 東帝大總長	工博 平賀 讓
財界 經濟聯盟理事	井坂 孝
同 日商會頭	八田 嘉明
外交界 前駐伊大使	白鳥 敏夫
愛國團體東建聯合會長	海軍大將 末次信正
同 大日青黨統領	陸大 橋本欣五郎
同 東方會長	中野 正剛
同 黑 龍 會	葛生能久
自治團體 全國町村長會長	岡崎 勉
言論界 同盟通信社長	古野伊之助
同 東日取締會長	高石眞五郎
同 讀賣社長	正力松太郎
同 朝日主筆	緒方竹虎

尙全關係は準備委員會に出席するものである。又常任幹事としては左の六氏が任せられた。

内閣書記官長 富田健治

内閣法制局長官	村瀨直養
陸軍省軍務局長	武藤 章
海軍省軍務局長	阿部 勝治
企劃院 次長	小畑 忠良
	後藤隆之助

◎外交界空前の刷新は外務大臣松岡洋右氏が大橋忠一氏を次官に起用して其序幕を切つて落した。夫は親英米派を清算すべく、大使では堀内謙(米) 武富敏彦(トルコ) 堀田正昭(駐支) 桑島主計(ブラジル) 澤田廉三(佛) の五氏公使では越田佐一郎(メキシコ) 横山正幸(スペイン) 富井周(カナダ) 中山詳一(イラン) 岡田兼一(南阿) 守屋和郎(アフガニスタン) 北田正元(ペルー) 井上庚二郎(ハンガリー) 内山岩太郎(アルゼンチン) 杉下裕太郎(フィランド) 宮崎勝太郎(ルーマニア) 鹽崎觀三(チリ) 坂根準三(コロンビア) 山形清(ヴェネズエラ) 大鷹正次郎(ラトヴィア) 宇佐美珍彦(埃及) 水澤孝策(パナマ) 峰谷輝雄(ブルガリア) 隈部種樹(イラク) の十九氏其他在外參事官五氏總領事十一氏に歸朝命令を發した。